

「使える」「使えない」大学ランキング

週刊

ダイヤモンド

DIAMOND WEEKLY

<http://dw.diamond.ne.jp/>

2014 10/18 定価 710円



経済特集
広島
カープモデル
の底力

第102巻40号/毎週土曜日
平成26年10月18日
大正2年5月1日
第3種郵便物



最新

大学

評価ランキング

企業、ビジネスマン、学生の新序列



- ▶ 最高峰・東大の凋落 ▶ 慶應三田会が動かす地銀再編 ▶ 「政経」も色褪せる早稲田の落日 ▶ W合格の本場の勝ち組、負け組 ▶ 郊外移転で中央没落、青学も後遺症 ▶ 元活動家の女性総長を担ぐ法政の博打 ▶ 「国際系」学部の乱立 ▶ 「看護」学部新設の同志社で内輪もめ ▶ 「土木・建築」バブル再来、「金属」「鉱山」の斜陽 ▶ 出世する大学の新常識 ▶ 近畿大の脱ソルジャー戦略 ▶ [北海道・中部・関西・九州] 地元企業に強い大学

エコプレミアム 環境コンシャスな 製品やサービスを 選定、後押し

「公害のまち」からの再生を果たし、いまや環境都市のトップランナーである北九州市。同市の新成長戦略を検証する連載11回目は、市がPRを支援する環境配慮型産業の振興策を見る。環境負荷が低いことを新しい付加価値として捉えた製品や技術、産業活動^①を「エコプレミアム」として選定し、環境ビジネスを後押しする。



「エ」

「エコプレミアム」は北九州市内企業からの応募を基に、専門家の意見を反映して選定される。同市環境局環境未来都市推進室は「単純に環境性能だけを審査するのではなく、価格など製品化した後の市場展開の有望性も考慮して選定している」と説明する。選定された製品やサービスには「北九州エコプレミアム選定書」が発行され、オリジナルカタログへの掲載をはじめ、西日本最大級の環境見本市「エコテクノ展」への出展や、エコタウンセンターでの常設展示など、市が積極的に製品PRの後押しをする。企業側は「市から選定された」という信頼感を生かしながら、営業活動を展開できる。

製品の信頼性を高める エコプレミアム選定

大分製紙グループの九州製紙では、複数の製品がエコプレミアムに選定されている。代表的な製品は、古紙を使用したトイレットペーパー。今まで焼却処



九州製紙
田北洋一
代表取締役社長



フジコー
永吉英昭
常務取締役

分されていた紙ごみ類を再利用したもので、芯を省いた環境負荷軽減タイプの「コアレス」ロールが主力だ。最近では紙だけでなく、企業から排出される機密文書を段ボールケースのまま溶解し、トイレットペーパーへとリサイクルするシステムを開発、これもエコプレミアムに選定されている。

「環境負荷低減を目指すエコプレミアム」の理念は、当社の経営理念とも合致し、製品開発のモチベーションになっています。当社の目標は、地域と共に成長を続け、地球環境保全に邁進する企業であり続けること。エコプレミアムの選定は当社製品への信頼を高めてくれて、事業展開の大きな支えになっていきます」と九州製紙・田北洋一代表取締役社長は語る。

一方、光触媒の技術で、数々のエコプレミアムの選定を受けているのはフジコーである。光触媒とは、太陽光や蛍光灯などの光が当たると、その表面で強力な酸化力が生まれ、接触してくる有害物質を酸化分解し、除去することができる材料のこと。フジコーでは、鉄鋼事業で培った独自の「高速フレイム低温溶解」技術によって、接着剤を使



北九州モノレール「平和通駅」女子トイレ(写真中央)に導入されたフジコーのマスキールドタイル(写真左)。技術開発には九州工業大学や北九州市立大学も参加、産学連携の成功事例の一つにもなっている



わない純度の高いコーティングを実現している。主力のエコプレミアム製品は、光触媒を溶射した「MaSSC^②シールドタイル」。このタイルをトイレの床に導入すれば、除菌や消臭作用が発揮される。同社の永吉英昭常務取締役は「北九州モノレールの駅トイレや市内の小中学校のトイレに導入されました。こうした事例がさらに製品の信用を高めてくれます。この分野では新規参入で知名度が低かったので、エコプレミアムという市からの「お墨付き」を得られたのは大変ありがたい」と、選定のメリットを明かす。地元産業振興に一役も二役も買っている「エコプレミアム」である。(次号へ続く)

北九州市広報室報道課
〒803-8501
福岡県北九州市小倉北区城内1-1
TEL: 093-582-2235
URL: <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

世界の環境首都を目指して③

ポテンシャルの伝道師たち

次号は連載「北九州イズムの真髄」⑫ 実証が進む、東田スマートコミュニティ。